

安全性データシート

改定日: 2023年6月28日

前作成日: 2023年6月16日

SDS番号: 390B-10

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

785 FG パーティング潤滑剤

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 合成ベース。かじり、焼き付き、腐食、電食を防ぎ、金属部品の組立て、分解を簡単にします。酸素システムには使用しないでください。

使用上の制限: 情報なし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

株式会社 明治屋

神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地

TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731

Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

眼刺激、区分 2, H319

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 警告

危険有害性情報: H319 強い眼刺激。

使用上の注意:	P264	取扱後は皮膚よく洗うこと。
	P280	保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P305/351/338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P337/313	眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
補足情報:	EUH208	ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩、スルホン酸、石油、カルシウム塩をおよびベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-アルキル誘導体、カルシウム塩含みます。アレルギー反応を起こすことがあります。

2.3. その他の危険性

なし

セクション 3： 組成、成分情報**3.2. 混合物**

危険成分'	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
ピロリン酸四ナトリウム	1-<3	7722-88-5	眼に対する重篤な損傷性 1, H318 急性毒性 4, H302	ATE (経口): > 1,624 mg/kg
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	0.4-2.5	68584-23-6	皮膚感作性 1B, H317	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 1.9 mg/l
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	0.4-1.5	26264-06-2	急性毒性 4, H302 皮膚刺激性 2, H315 眼に対する重篤な損傷性 1, H318 (> 5%) 水生慢性 4, H413	ATE (経口): 1,300 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	0.4-2.5	61789-86-4	皮膚感作性 1B, H317	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 1.9 mg/l
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	0.4-2.3	68411-46-1	生殖毒性 2, H361f 水生慢性 3, H412	ATE (経口): > 2,000 mg/kg ATE (経皮): > 2,000 mg/kg
その他の成分:				
基油 - 指定なし*	4-10	64742-70-7 64742-65-0	分類されていません**	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 2,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 5.53 mg/l

二酸化チタン***	3-7	13463-67-7	分類されていません** ^a	ATE (経口): 10,000 mg/kg ATE (経皮): > 10,000 mg/kg ATE (吸入、粉塵): > 6.82 mg/l
タルク***	3-7	14807-96-6	分類されていません**	入手不可

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。
 *IP 346の測定によるとDMSO抽出物の含有量は3%以下。
 **職場での暴露限界のある物質。
 ***本製品に含まれるタルク、二酸化チタンは粉末状ではないので、通常の使用では危険はありません。
^a 空気動力学径10 μm以下の粒子を1%未満含有。

分類基準: * 労働安全衛生法
 * 毒物および劇物取締法
 * GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4: 応急処置

4.1. 応急処置情報

- 吸入:** 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着:** 石鹸水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合:** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合:** 意識がある場合は、水で口をゆすがせ、少量の水を飲ませてください。無理に吐かせないでください。医師の診断を受けてください。
- 応急手当を行う人の保護:** 犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

目に刺激を与えます。長時間あるいは繰り返す皮膚に付着すると、脱脂や炎症を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤: 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡 あるいは 水霧

不適切消火剤: 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物: 熱分解すると一酸化炭素、二酸化炭素、硫酸化物、その他の有毒煙を発生することがあります。

その他の危険性: 濃い煙。消火活動による流出液を排水口や水路に流さないでください。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。取扱い後は手をよく洗ってください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。作業区域で飲食、喫煙をしないでください。使用時以外は容器の蓋を閉めてください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置**8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
ピロリン酸四ナトリウム*	N/A	N/A	N/A	N/A
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	N/A	N/A	N/A	N/A
スルホン酸、石油、カルシウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	N/A	N/A	N/A	N/A
オイルミスト、鉱物物	N/A	3	N/A	5
二酸化チタン	(総塵)	4	N/A	10
	(吸引可能)	1		
タルク	(吸引可能)	0.5	(吸引可能)	2
	(総塵)	2		

* 米国国立労働安全衛生研究所 (NIOSH) REL (TWA) : 5 mg/m³

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限**8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護: 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可されたミスト用有機蒸気呼吸マスクを使用してください。

手袋: 耐薬品性手袋(例: ネオプレンあるいはニトリル)。

目 / 顔の保護: 安全ゴーグルあるいは眼鏡。

その他: 長袖、長ズボンを着用し、身体を清潔に保ち、皮膚との接触を避けてください。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	半固体	pH	適応せず
色	オフホワイト	動粘	未定
臭気	かすかな石油臭	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	適応せず	20・Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	適応せず	相対密度	1.32 kg/l
揮発率%(容量比)	ごくわずか	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率 (%)	未定
引火点	未定	爆発性	未定
方法	適応せず	酸化性	未定
自己発火温度	未定	粒子特性	データなし
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10： 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

通常の状態では安定。

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

強酸、塩基、酸化剤および還元剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、酸化硫黄、その他の有毒煙。

セクション 11： 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口： ATE-混合物 > 5,000 mg/kg

物質	テスト	結果
ピロリン酸四ナトリウム	致死量50(LD50)、ラット	1,624 mg/kg
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット (OECD 401)	> 5,000 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	致死量50(LD50)、ラット	1,300 mg/kg
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	致死量50(LD50)、ラット (OECD 401)	> 2,000 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット (OECD 401)	> 5,000 mg/kg

経皮： ATE-混合物 > 5,000 mg/kg

物質	テスト	結果
ピロリン酸四ナトリウム	致死量50(LD50)、うさぎ	7,940 mg/kg
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50)、うさぎ (OECD 402)	> 2,000 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	致死量50(LD50)、うさぎ	> 4,199 mg/kg (類推)
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	致死量50(LD50)、ラット	> 2,000 mg/kg
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死量50(LD50)、うさぎ (OECD 402)	> 4,000 mg/kg

吸入： 分類されていません、入手可能なデータによる

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	致死量50(LD50)、ラット、エアゾール	> 1.9 mg/l (類推)
スルホン酸、石油、カルシウム塩	致死濃度50(LC50)、ラット、ミスト (OPP 81-3)	> 1.9 mg/l (OPP 81-3)

皮膚腐食性/刺激性： 長時間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、脱脂や炎症を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし (類推)
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	皮膚の炎症、うさぎ	刺激性
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	皮膚の炎症、うさぎ (OECD 404)	炎症なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 強い眼刺激。

物質	テスト	結果
ピロリン酸四ナトリウム	目の炎症、うさぎ	重篤な目の損傷 / 激しい刺激
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	目の炎症、うさぎ (OECD 405)	炎症なし
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	目の炎症、うさぎ	重篤な目の損傷 / 激しい刺激 (類推)
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	目の炎症、うさぎ (OECD 405)	炎症なし
スルホン酸、石油、カルシウム塩	目の炎症、うさぎ	炎症なし

呼吸器または皮膚の感作： 皮膚の過敏症を起こしません。これは類似物質のデータに基づいています。

物質	テスト	結果
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	皮膚の感作、モルモット	過敏性なし

胚細胞突然変異原性： 分類されていません、入手可能なデータによる ピロリン酸四ナトリウム、ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物 - エイムズ試験：陰性。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性 (類似物質)
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	インビトロ試験、OECD 476	陰性 (類似物質)
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	小核試験、マウス、経口	陰性
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	エイムズ試験 (QSAR)	陰性
スルホン酸、石油、カルシウム塩	エイムズ試験 (OECD 471)	陰性 (類似物質)
スルホン酸、石油、カルシウム塩	インビトロ試験、OECD 476	陰性 (類似物質)
蒸留物(石油)、溶剤で精製した重パラフィン系	バクテリア、OECD 471	陰性

がん原性： 国際がん研究機関(IARC) は吸引された二酸化チタンを発ガン性の疑いのある物質に指定しています(グループ 2B)。本製品内の二酸化チタンは混合物から分離したり空気で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。

生殖毒性： 分類されていません、入手可能なデータによる

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	415, ラット、雄/雌、経口、28日	NOAEL \geq 500 mg/kg (類似物質)
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	ラット、雄/雌、経口、20日	母体最大無毒性量: 300 mg/kg 発生最大無毒性量: 300 mg/kg
2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物	ラット、雄/雌、経口、1世代、OECD 443	生殖能力への影響

STOT - 単回暴露： 分類されていません、入手可能なデータによる ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 反復暴露： 分類されていません、入手可能なデータによる ピロリン酸四ナトリウム、ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩:
入手可能なデータによると繰り返し晒されても大きな悪影響はないとされています。タルクの粉塵を長時間あるいは繰り返し吸引すると、慢性の咳、息切れ、肺の損傷(肺線維症)、軽い塵肺の症状を起こすことがあります。本製品に含まれるタルクは粉末状ではないので、通常の使用では危険はありません。

物質	テスト	結果
ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩	28日間経口垂慢性調査 (OECD 407) ラット、雄/雌	NOAEL: 500 mg/kg (類似物質)
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	180日間経口垂慢性調査、ラット、雄/雌	LOAEL: 115 mg/kg
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	ラット、雄/雌、30日	LOAEL: 250 mg/kg

吸引性呼吸器有害性： 吸引毒物に分類されていません。

11.2. その他の情報

既知の影響なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: 96時間LC50(対魚) = 22 mg/l (OECD 203, 類推). 2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物: 96時間LC50(対魚) $>$ 71 mg/l (OECD 203); 48h EC50(ミジンコによる半数影響濃度) = 51 mg/l (OECD 202). スルホン酸、石油、カルシウム塩: 96時間LC50(対魚) $>$ 10,000 mg/l. オイル: 水生生物に対する急性毒性が事実上ありません。(LC50/EC50/ErC50 $>$ 100 mg/l.)

12.2. 持続性・分解性

オイル: 容易に生分解しません。ベンゼンスルホン酸、C10-16-アルキル誘導体、カルシウム塩: 容易に生分解しません。(類推).
カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: 易生分解性。2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物: 容易に生分解しません。(二酸化炭素発生テスト). スルホン酸、石油、カルシウム塩: 容易に生分解しません。(8.6%).
ピロリン酸四ナトリウム: 無機物質。

12.3. 生物蓄積の可能性

カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン: BCF = 104 (対魚、21 日); log Kow 3.9 - 6; 生物濃縮の可能性はありますが、代謝や物理的特性によって生物濃縮が低減したり生物学的利用能が制限されることがあります。2,4,4-トリメチルペンテンを含有するベンゼンアミン、N-フェニール、反応生成物: log Kow > 7. ピロリン酸四ナトリウム: 生体内蓄積は有りません。

12.4. 土壌中の移動性

半固体。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可。

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン	クラスII薬品: なし
その他の国内規制: 水質汚濁防止法 指定物質: カルシウム スルホン酸ドデシルベンゼン 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 製造輸入量の届出を要しない物質: ピロリン酸四ナトリウム 既存化学物質: スルホン酸、石油、カルシウム塩		

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規 (1272/2008/EC)
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL: 許容暴露限度
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制 (1907/2006/EC)
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
 スウェーデン化学物質庁 (KEMI)
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
 化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
眼刺激性 2, H319	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント: H302: 飲み込むと有害。
 H315: 皮膚刺激。
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H318: 重篤な眼の損傷。
 H361f: 生殖能力に障害を与える疑いがあります。
 H412: 長期的影響により水生生物に有害。
 H413: 長期的影響により水生生物に有害のおそれ。

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: セクション 3.2, 11.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。